



第6学年 総合的な学習の時間活動案

平成14年6月26日(水)
北区立赤羽台小学校
第6学年1組 児童数39名
授業者 教諭 高橋 恒雄

1. 題材名

「インターネットのルール・その4 ~危険な情報に気をつけよう~」

2. 題材の目標

インターネットには意図的に作られた危険な情報があることを知る。

インターネットは自己責任の世界であることを知り、情報の善悪に対して適切な対応がとれる判断力を養う。

インターネットの陰にあたる部分(悪質な情報)が社会に与える影響を考えさせ、正しい社会参画の態度を育成する。

3. 児童の実態

児童は、情報活用の面では、現在、総合的な学習の時間に人物調べ学習として、興味がある人物について、百科事典ソフトやインターネットから情報を収集し、編集してまとめる活動を行っている。

情報モラル面では、5年生の時に個人情報保護の学習を行い、アンケートや掲示板、チャットなどに安易に自分や家族、友人の情報などを入力しないことを学んだ。

今回、本学習を行うために、インターネットに関する危険な情報について、どのような知識があるか事前アンケートをとったところ、個人情報の保護以外には、「ウィルスに気をつける」、「へんなページを開かない」、「知らない人からメールが来ても答えない」などがあがった。悪質な情報に関する具体的な知識はまだもっていないようである。

また、家庭でのインターネット接続は21名で、昨年11月のアンケート結果より6名増えており、自分専用の携帯電話を持っている児童は2名増えて11名になっている。半年の間に目に見えて増えていることが分かる。

4. 本題材と情報教育との関連

総務省の発表によると、14年1月現在、国内でのインターネット利用者数が、のべ5440万人に達しており、1年前の1900万人から急速に増えている。今後もこの数字は伸び続けると思われるが、インターネットの知識を得る前にインターネットを利用してしまう場合が多いため、悪質な情報にだまされ、被害を受ける人の数も年々増加している。

インターネットには有益な情報と、アダルトや薬物などの有害情報と言われるもの以外に、意図的に作られ



た悪質な情報も多く存在している。個人情報を収集して悪用しようとするサイト、知らない間に国際電話やダイヤルQ 2へ接続先を変えてしまう罠、個人売買やモニター制を悪用した詐欺、出会い系サイトに潜む罠など、マスコミでもひんぱんに取り上げられている。これらは人間のもつ欲に巧みにつけこみ、気が付くと金銭的や身体的に被害を受けてしまうという悪質なものである。特に、社会経験やインターネット経験の少ない小中学生は、家庭でも子どもだけでインターネットを使える時間が多く、被害を受けやすい。では、家庭でその対処や指導ができるかという点、保護者も知識をもっていないことが多く、パソコンを子どもに与えっぱなしにして、どのように利用しているか把握していないことが多い。しかし、これらの被害はその存在を知っていれば防げるものがほとんどである。

そこで、本時ではインターネットに仕掛けられた危険な情報のうち、小学生が興味をもちやすい内容を取り上げ、まず、現状を知らせる。次に、危険な情報への対処方法、さらに、悪質な情報が社会に与える影響を考えさせ、不審な情報に接しても安全に対処できる判断力と社会に参画する態度を育成する。

5.本時の展開

(1)本時のねらい

インターネットには意図的に作られた危険な情報があることを知る。

インターネットは自己責任の世界であることを知り、情報の善悪に対して適切な対応がとれる判断力を養う

(2)展開

学 習 活 動	教師の働きかけ 評価
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> みんなが書いてくれたアンケートの結果を見よう。 </div> インターネットを使っていて、危険なことにつながる場合を考える。 ・ウイルスに気を付ける。むやみにダウンロードしない。 ・へんなページをあけない。 ・広告などにむやみにアクセスしない。 ・メールの相手と会わない。 知らない人とメールやチャットをしない。 ・自分や友達の写真を送信しない。	5年生の時に学んだことを想起させ、インターネットの陰にあたる部分を考えることができるようにする。 児童に行ったアンケート結果を提示して、考えることができるようにする。 隠された危険性に興味や関心をもてたか。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> こんなホームページに出会ったらどうするか話し合ってみよう。 </div>	用意してある資料(ホームページ)を提示して、隠された危険を考えることができるようにする。



<p>資料を見て考え、話し合う。</p> <p>「モニター詐欺のホームページ」 ・お金を払って大丈夫かな。 ・本当にゲーム機はもらえるのかな。 一人一人が子機で、ホームページのその先を開き、隠された危険性を確認する。</p> <p>「接続先を変えるホームページ」 ・本当に無料なのかな。 何か細かな字がいっぱい出てきたけれど、何だろう う 一人一人が子機で、ホームページのその先を開き、隠された危険性を確認する。</p> <p>自分なりに気がついた危険性について発表する。</p>	<p>画面をプロジェクターで投影する。 資料 について、隠された危険性を考えることができたか。 危険性について、用意したホームページで確認できるようにする。</p> <p>資料 について、隠された危険性を考えることができたか。</p> <p>青字で示した注意事項に、特に着目するよう声かけをする。</p> <p>初めて知る危険性について、理解できたか。 よい気付きを賞賛し他の児童に広げる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> こういうこともあるインターネットの世界について考えよう。 </div> <p>学習したことを通して、インターネットの世界についての考えをカードに記入する。 だまされる人がかわいそう。 ・人をだますなんてひどい。 ・こんなホームページには、引っかからないようにする。 ・そういうことがないインターネットにしたい。 便利ながあるインターネットだけど、悪いこともあるので、気がつけた方がよいことも知った。 考えたことを発表する。</p>	<p>例示したサイトは人をだますために作られた、悪質なホームページであることを伝える。 インターネットは自己責任だということを知らせる。 将来、こういう悪質なことをしない大人になってほしいと伝える。 インターネットの陰の部分について、見方や考え方を広げ、自分なりの考えをもつことができたか。</p>



インターネットについてのアンケート

6年 (男・女)

(回答数 37)

ホームページのアンケートや懸賞(プレゼント)に、自分や友だちの住所・電話番号・家族のことなど、むやみに答えてはいけなことを5年生で学習しました。

あなたはこの外に、インターネット(ホームページやメール)で、気をつけなければならないこと、危険なことにどんなことがあると思いますか。

思いっただけ書いてみましょう。

- 例 -

ホームページのアンケートに住所や年齢を書き込むこと。

- 児童の回答 -

ウイルスがあるので、むやみにダウンロードしない。

へんなページをあげない。

掲示板を荒らさない。

チャットや会員に入ること。

広告などにむやみにアクセスしない。

知らない人からメールが来ても答えない。

知らない人とメールやチャットをしない。

自分の写真や友達の写真を送らない。

メールの相手と会わない。

あなたの家は、インターネットがつながっていますか。

1. つながっている(21人) 2. つながっていない(16人)

つながっている人に聞きます。家で、インターネットをよく使いますか。また、どんなことに使っていますか。

1. よく使う(10人) 2. 時々使う(8人) 3. ほとんど使わない(3人)

あなたは、自分の携帯電話を持っていますか。

1. 持っている(11人) 2. 持っていない(26人)